

令和2年8月19日（水）

「 青森中央高校読み聞かせ隊と交流をしました 」

8月11日（火）に、「青森中央高等学校読み聞かせ隊」が来校し、復興研究会と交流を行いました。青森中央高等学校、青森山田高等学校、青森南高等学校の生徒、「読み聞かせ隊」のOGなど21名が本校に来校しました。青森中央高等学校読み聞かせ隊は、毎年久慈や宮古などに訪問し読み聞かせを行っておりますが、本校との交流は今年度が初となりました。



青森中央高等学校読み聞かせ隊の生徒たちは、こども園や青森聾学校で読み聞かせの活動を報告し、実際に本校生徒にも読み聞かせをおこなってくれました。「種を植えたら、次はどうなるかな?」「芽が出ました!」などと聴衆に問いかけ、表現豊かに読み聞かせをしてくれました。復興研究会は、これまでの取り組みと、防災紙芝居の発表をおこないました。



その後、バスに乗って大槌町を案内しました。城山、旧大槌町役場、赤浜小学校跡、蓬莱島を、生徒自身の被災体験や周囲の大人たちから聞いたことをもとに、生徒自身の言葉で語りました。バスの中でも、大槌学園や小鮎川、水門など様々な場所の歴史を説明するバスガイド役も行いました。



最高気温は34℃、快晴の中で行われたためか、特に蓬莱島では、読み聞かせ隊の生徒と本校生徒がともに海で遊んだり記念撮影をおこないました。見送りの時には別れを惜しむ姿も見られました。初めての交流でしたが、双方の距離がぐっと近づいた交流となりました。

